

《 誠実な市議会を取り戻す！ 》 政務活動費を巡る基本的な考え方

昨今、政務活動費をめぐる、一部岐阜市議が世間の皆様をお騒がせしています。幼い頃からこの世界に憧れを抱き、未来の子どもたちから、サッカー選手やケーキ屋さんのように「政治家も憧れの仕事」と思ってもらえるような仕事を残したいと、26歳の初当選時より約10年近く市政に誠実にコツコツ積み木を積み上

げてきたという強い自負を持つ私としては、よもや同じ同僚議員にバーンと積み木を崩されたようで、強い怒りを覚えます。今回を契機により一層議会改革を進めると共に、市民の皆様には「岐阜市議会には和田直也がいてよかった」と今後も胸を張って思っただけの仕事を残していきたいと初心変わりありません。

私自身の政務活動費については、HPで報告書を毎年公開していますのでぜひアクセスください。

そもそも政務活動費は地方分権一括法を契機として創設されており、私自身、政務活動費のおかげでどれだけ有意義な議会質問につなげられたことか考えると「必要」という立場に変わりありません。今回の問題の本質は、議員のモラルとそのチェック体制です。ゆえに、全員協議会で示された改革案「議会事務局

HP」における全議員の報告書や領収書のネット公開は、透明性を高めるために実施すべきです。額面については夫々に考えが異なると思いますが、与えられた額面で最大の効果を出せるよう努める初心に変わりありません。同時に、これを抜きにした議論も市民感情からして無視できないと考えますので、今後は議会としての方針を固めた上で、報酬等審議会など第三者による担保を得る必要があると考えています。

未来の声に応えるために！
いつも青空が広がるまちへ
岐阜市議会議員【3期目】

和田直也

検索



《 地方創生を加速させる！ 》 トランジットモール交通社会実験

地方創生に関連し国が拠出する地方創生加速化交付金を活用して岐阜市

が企画する「トランジットモール社会実験 11月19日(土)～20日(日)

長良橋通り沿いで実施」は、道路空間のオープン化による賑わい創出+ストレスフリーな「歩くことを基本としたまちづくり」の大きな第一歩となります。そもそもトランジットモール(Transit-mall)とは、クルマ通行を制限し、バスや路面電車、タクシーなどの公共交通だけが優先的に通行できる歩車共存道路のことで、ヨーロッパ各都市で導入されている道空間

です。国内でも京都市、姫路市、那覇市で実施されており、公共交通と人だけの新たな中心市街地の道空間として注目されています。この政策実現は、私の学生時代からの夢でもあり市議3期目の重点政策です。各種イベントは市商連が母体となり企画、今回の社会実験の結果をもとに、来年度以降は市の単独事業としての発展が期待されます。今後も調整に徹します。



▲長良橋通りイメージ図



▲独フライブルグ Transit mall



- No.1 《 H 2 8 年度予算の概況について 》
今年度の主な政策や事業を解説します
- No.2 《 新市庁舎の設計について 》
検証すべき事業！本当に高層化で良いか
- No.3 《 国が進める地方創生について 》
人口減少を阻止+東京一極集中を是正
- No.4 《 まち・ひと・しごと創生総合戦略 》
問題を共有してこそ道筋が見えてくる
- No.5 《 和田直也が考える地方創生私案 》
4つの政策の柱・岐阜市創生私案！



議員は毎日何してる？ 議会でどんな議論してるの？ 市役所でどんな政策を進めてるの？ などの素朴な疑問にきちんとお応えします。いつでも、どこからでも…
スマホ&タブレットでYouTube「和田直也」検索